はじめよう！ 夕方を楽しく活かす働き方。

7・8月 ワークライフバランス推進強化月間

ゆう活

業務効率化でゆう活を実践しましょう。

ゆう活とは？

勤務終了時刻が早まることで生まれる夕方の時間で、
生活を豊かにしていくという考え方から名付けられました。
朝早くから働き始め、明るい夕方のうちに仕事を終わらせ、
夕方からは家族や友人との時間を楽しみましょう。

ワークライフバランス推進のための取り組みの例

管理職員の取り組み

1. **「効率よく働くこと」を評価**
   「遅くまで働くこと」ではなく「短い時間で効率よく働くこと」を評価する。
2. **作成資料の削減**
   省内用の資料作成は必要最小限に。見映えにもこだわらない。
3. **早い段階での方針の指示**
   懸案を部下に丸投げせず、フリートーク等により方針を決めてから作業を指示する。
4. **権限の委任・決裁過程の簡素化**
   決裁ルートの簡素化、権限の委任等の工夫をする。
5. **部下職員の勤務時間を適切に管理**
   部下職員の勤務時間を適切に管理し、超過勤務の多い職員の原因と対策を考える。

全職員の取り組み

1. **会議の効率化**
   目的・所要時間を明確化し、参加人数・資料も最低限に。
2. **書類の整理整頓**
   整理整頓を行い、書類を探すための時間を削減する。
3. **業務の標準化・マニュアル化**
   業務を標準化・マニュアル化し、周りの職員とフォローし合えるようにする。
4. **締切意識とスケジュール共有**
   作業を計画的に遂行。各職員のスケジュールを共有し、協力する。
5. **超過勤務に対しコスト意識を持つ**
   コスト意識を持ち、自らの業務管理を徹底することで、超過勤務を必要最小限にする。

内閣官房内閣人事局